

再 評 価 調 書

I 事業概要				
事業名	街路事業			
地区名	都市計画道路 <small>ちりゅうかんじょう</small> 知立環状線			
事業箇所	愛知県知立市内 <small>うちさいわい ひらた</small> 幸町平田地内始め			
事業のあらまし	<p>(都) 知立環状線は、名鉄知立駅の西側を南北に貫く都市計画道路知立南北線を起点に、都市計画道路安城知立線、都市計画道路本郷知立線等と交差し、国道1号までを結ぶ路線である。</p> <p>知立駅周辺は、名鉄名古屋本線・三河線が中心市街地を東西・南北に縦貫しており、鉄道と道路の平面交差が、交通渋滞の原因となるとともに、市街地の活性化を阻害している。</p> <p>本事業は、知立駅付近連続立体交差事業及び安城知立線、本郷知立線等の街路整備と連携し、一般県道安城八ツ田知立線のバイパスとして、安城知立線交差部から本郷知立線交差部までの区間を県事業で整備するものである。</p> <p>本事業により、知立駅周辺の歩行者・自転車等の交通安全が確保されるとともに、主要幹線道路である国道1号と知立市中心市街地との交通円滑化が図られ、知立駅付近連続立体交差事業の効果を高めることができる。</p> <p>このため、「知立市中心市街地の交通円滑化」「交通安全対策の強化」を主な目的として、(都) 知立環状線のバイパス整備を実施するものである。</p>			
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>① 知立市中心市街地の交通円滑化</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>			
計画変更の推移		事前評価時 (2014)	再評価時 (2019)	変動要因の分析
	事業期間	2015～2023	2015～2023	
	事業費(億円)	14.9	14.9	
	経費内訳			
		工事費	0.9	0.9
	用補費	13.5	13.5	
	その他	0.5	0.5	
	事業内容	バイパス整備 延長 L=330m 幅員 W=23m 2車線	同左	
II 評価				
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>① 知立市中心市街地の交通円滑化 知立駅及び三河知立駅へのアクセス道路であるが、混雑度が1.52、交通量が18,036(台/日)と慢性的な渋滞が発生しており、交通の円滑化が求められている。</p> <p>② 交通安全対策の強化 知立小学校の通学路に指定されているが、道路幅員が4.0mであり、歩道が整備されていないため、通学児童の安全確保が求められている。</p> <p>【再評価時の状況】</p>		

		必要性に大きな変化はない 【変動要因の分析】 大きな変動要因はない																																																																																																																		
	判定	B A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】 知立駅周辺では慢性的な渋滞が発生しているとともに、現道には歩道がなく、事業の必然性は依然として高いため。																																																																																																																		
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="2">8.8億円</td> <td colspan="4">6.1億円</td> <td colspan="2"></td> <td>14.9億円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">3.9億円</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="2"></td> <td>3.9億円</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="2">3.9億円</td> <td colspan="4">11億円</td> <td colspan="2"></td> <td>14.9億円</td> </tr> </tbody> </table> 【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0</td> <td>0.33</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>8.8</td> <td>3.9</td> <td>44%</td> <td>14.9</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>—</td> <td>0.9</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>8.3</td> <td>3.6</td> <td>44%</td> <td>13.5</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> <td>60%</td> <td>0.5</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率（面積ベース）は、約30% ※用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は51%（2018年度末時点）</p> 【施工済みの内容】 —			2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計	工種区分	調査設計	←→									用地補償	←→									道路工事						←→				事業費(億円)	当初計画	8.8億円		6.1億円						14.9億円	実績	3.9億円								3.9億円	今回計画	3.9億円		11億円						14.9億円		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.00	0.00	0	0.33	0%	事業費(億円)	8.8	3.9	44%	14.9	26%	工事費	0.0	0.0	—	0.9	0%	用補費	8.3	3.6	44%	13.5	27%	その他	0.5	0.3	60%	0.5	60%
			2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計																																																																																																									
工種区分	調査設計	←→																																																																																																																		
	用地補償	←→																																																																																																																		
	道路工事						←→																																																																																																													
事業費(億円)	当初計画	8.8億円		6.1億円						14.9億円																																																																																																										
	実績	3.9億円								3.9億円																																																																																																										
	今回計画	3.9億円		11億円						14.9億円																																																																																																										
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																															
延長(km)	0.00	0.00	0	0.33	0%																																																																																																															
事業費(億円)	8.8	3.9	44%	14.9	26%																																																																																																															
工事費	0.0	0.0	—	0.9	0%																																																																																																															
用補費	8.3	3.6	44%	13.5	27%																																																																																																															
その他	0.5	0.3	60%	0.5	60%																																																																																																															
2) 未着手又は長期化の理由	完了予定年度に変更なし																																																																																																																			

3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 大きな阻害要因はないが、用地買収が未完了であるため、用地買収の完了に向けて引き続き交渉を行っていく。</p> <p>【今後の見込み】 事業費ベースで用地補償は27%(2018年度末)進捗している。今後も引き続き用地買収を進めることにより2023年度に完了する見込みである。</p>	
判定	B	<p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <p>○ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
<p>【理由】 これまで事業は順調であり、未買収地が残っているが、引き続き用地買収を進めることにより2023年度までに事業完了が見込めるため。</p>		
III 対応方針		
継続	<p>中止: 上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続: 上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象(事業完了後5年目) □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】 交通量(全車、大型車)、旅行速度、混雑度、(安全性の改善状況)を定量的に評価する。</p>		